

## 第44回東京モーターショー2015が始まりました

第44回東京モーターショー2015が東京ビッグサイトを会場にして始まりました。10月28日(水)と29日(木)の2日間のプレスデーに続き、一般公開は10月30日(土)から11月8日(日)までの10日間で開催されます。

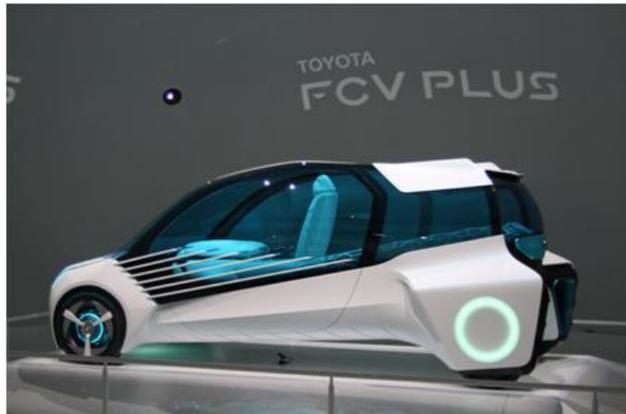
今回のモーターショーは、「きっと、あなたのココロが走り出す」(“Your heart will race.”)をテーマにして、世界11カ国から160の企業・団体が参加し、国内全ての乗用車・商用車・二輪車メーカー14社15ブランド、海外メーカー17社27ブランドが出展しています。出展車両では、世界初公開が76台、日本初公開は68台を数え、主催者側では「TECHNOLOGY×FANTASY」をコンセプトに、ご来場いただくお客様にとって、最新テクノロジーとの出会いによる、心躍るような体験をお届けする場になりたいとしています。



トヨタ自動車さんは、今までにない巨大な映像装置を採用し、コンセプトカーの魅力を引き出す圧倒的な迫力の演出が施された TOYOTA ブースと、新しいレクサスの目指す方向性”Progressive Luxury”を具現化し、白とシルバーのスタイリッシュかつクールな Lexus ブース、そして、日本自動車工業会のテーマ事業、SMART MOBILITY CITY 2015 のトヨタブースでは「もっと自由に… クルマが変わる、くらしが変わる、社会が変わる。」をテーマにして出展しています。



モーターショー開幕にあたり、豊田社長は報道陣へのプレスブリーフィングで、『『What wows you?』(あなたの心を動かすものは何ですか?) が今年の東京モーターショーでのトヨタのキーワードであり、『もっといいクルマをつくりたい』、『今の非常識を、次の常識にする』チャレンジをし続けて、『もっと、もっと楽しいモビリティ社会』の実現に向けて努力します』と力強いスピーチをされました。



トヨタさんの主な参考出品車は、今年末から市販される次期プリウス、日本初出展となる TOYOTA C-HR concept、未来の水素社会における新たな可能性を具現化した TOYOTA S-FR や TOYOTA FCV PLUS、人とクルマの関係性を改めて提案する TOYOTA KIKAI、そして LEXUS として初めての燃料電池車となる将来の LEXUS フラグシップカーをイメージしたコンセプトカー LEXUS LF-FC や、日本初公開となる高性能スポーツセダン LEXUS GSF や高級ミッドサイズセダン LEXUS GS など、未来のモビリティ社会を牽引する様々なコンセプトカーが展示されています。

今回の東京モーターショーでは、協豊会会員会社の各社も、日本のものづくりの中で自社が取り組んでいる内容をより多くの来場者にアピールするとともに、新しい技術や未来に向けた提案として、様々な出展や紹介を行なっています。



主催者側(日本自動車工業会)では今回の総入場者数として、前回の第43回の902,800人を一人でも多く上回りたいとしています。皆様も「最新テクノロジー」と「心を動かすような体験」を探しに、是非会場に足をお運びください。

